

大学生と一緒に 親子ボート体験

戸田漕艇場

県スポーツ協会と県ボート協会は、親子ボート体験会を戸田市の戸田漕艇場で開いた。親子ら約50人が参加し、日本大学と日本体育大学ボート部の部員と一緒にボートを漕いだ。戸田中央総合病院ロイニングクラブのメンバーも運営に協力した。

戸田漕艇場は2大学など各大学ボート部が練習する活動の拠点で、水辺には、艇庫や合宿所がある。体験会はスポーツ庁の補助を受けて実施した。

「よーし、出発してくださいーい」。岸边から日大ボート部OBで県ボート協会理事長の和田卓さん(76)が水上のボートに声を掛けた。親子らとボート部員の漕ぐ日大と日体大のエイト艇がゆっくと水の上を滑り出した。

広大なコースの一部を回るだけだが、子どもたちには感

動の体験だった。棧橋でボートから降りた川口差間小学校4年の林里奈さん(9)は「すごく速い。びっくりした」と息を弾ませた。父親の健太郎さん(39)は「頭の動きと体の動きがかみ合わなかった」と振り返る。



親子と大学生の乗るエイト艇がゆっくと漕ぎ出した。戸田市の戸田漕艇場

川口元郷南小4年の井上耀太君(10)「大学生のお兄さんの手のひらにまめがいっぱいだった。痛そうで、すごいと思った」。父親の弘巨さん(44)は「思ったより力が必要だと分かった」と話していた。立教大OBで同病院ロイニングクラブの野中誠司さん(37)は「楽しい体験会はボートスポーツの裾野を広げるのに役立つと思う」と話していた。